

第1章 導入の目標

平成21年3月に「基本構想」で位置づけられた、跡地を活用した公共交通施策（以下、「新交通」という。）を具体化するため、施策の目標を明らかにしておく必要がある。

本章では、まず、新交通導入の背景となる跡地周辺の交通の現状と課題を確認したうえで、課題解決の方向性と新交通に求められる役割を検討し、導入目標を再確認する。

1-1. 日立電鉄線跡地周辺における交通の現状と課題

- 日立市内の産業活動や市民生活は、南北に長い平地部(市街地)に集中し、道路交通は、国道6号・国道245号の2本で主に支えられており、慢性的な渋滞が発生している。
- 渋滞することで、バスなどの公共交通の利便性が低下し、特に、マイカーを利用できない住民にとっては、公共交通を利用しにくい状況となっており、また、環境負荷の増大や高齢者事故の増加などの問題も顕著になっている。
- 今後想定される高齢者の更なる増加に対して、マイカーへの過度の依存からの脱却が必要である。
- 跡地を将来のまちづくりや地域課題解決のための公用財産として有効活用することが求められている。

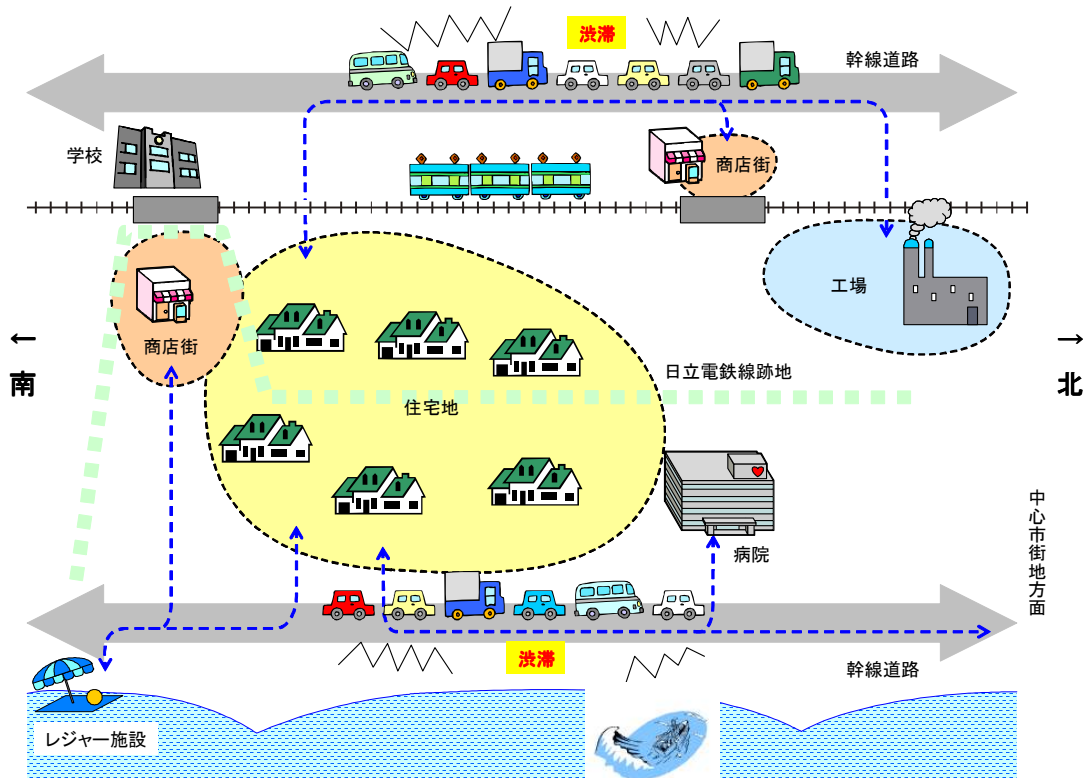


図 日立電鉄線跡地沿線の現状のイメージ

1-2. 課題解決の方向性

○ 前記の課題に対する解決の方向性として、次のような展開が考えられる。

- ①道路交通渋滞の解消やバス交通利便性の向上のための南北幹線交通軸の形成
- ②利用者ニーズに対応した公共交通サービスの向上
- ③誰でも安心して快適に移動できる都市環境の形成

《考え方》

- ・ 日立市内の産業活動や市民生活を支えている国道 6 号、245 号の慢性的な渋滞を緩和し、移動時間を短縮する抜本的な対策として、バイパスや市内道路などの南北幹線軸の整備を着実に進める必要がある。
- ・ 一方、道路整備と並行して、マイカーへの過度の依存からの脱却を目指すためには、その受け皿として定時性、速達性のある公共交通機能の創出と利用者ニーズに対応した公共交通サービスの充実が重要である。これにより、減少している利用者回帰が期待されるとともに、自動車からの転換が図られ、道路交通渋滞の緩和や環境負荷の低減も期待される。
- ・ 地域住民が求める交通サービスを提供することにより、マイカーだけではなく、鉄道やバスなど多様な移動手段が選択できる良好な都市・居住環境が整備され、高齢社会や環境社会に対応した快適に暮らせるまちづくりにつながる。

【参考】日立市の上位計画 ※総合的・計画的なまちづくりを進めるための指針

- ・ 日立市基本構想(H9. 3)
⇒「創造」「交流」「人間環境」の3つの理念に基づく『創造とふれあいの都市・日立』を目指す。
- ・ 日立市都市計画マスタープラン(H12. 12)
⇒土地利用の規制及び誘導、道路や公園など都市基盤の整備、都市デザインや自然環境との共生などを通して、『コンパクトな都市構造の維持、発展』を図る。

1-3. 新交通導入に求められる役割

- 前述した方向性から、跡地に導入する新交通については、以下のような役割が求められる。
- ① 定時性・速達性の確保と利用者ニーズに対応した交通サービスの提供による公共交通利用の促進
 - ② 超高齢社会に対応した公共交通機能の整備による誰もが安全で快適に移動できる交通環境の形成
 - ③ 市街地における南北移動を補完する公共交通幹線軸の形成による道路交通渋滞の緩和や環境負荷の低減
 - ④ 新交通の沿線(特に停留所)周辺に、生活利便施設、公共施設、駐車・駐輪場や憩いの場などの立地可能性が高まることによる沿線の地域活力の向上やコンパクトなまちづくりの実現

《考え方》

- ・ 跡地に導入する新交通は、公共交通利用の促進、自動車からの転換による道路交通渋滞の緩和を図るためにも「到着時間が読める」「自動車より早い」などこれまでの公共交通のマイナスイメージを払しょくできる交通システムとしての機能が期待される。
- ・ また、交通機能だけではなく、今後到来する高齢社会・環境社会に対応した誰でも安心して快適に暮らせるまちづくりをけん引するような社会システムのひとつの機能としても期待される。

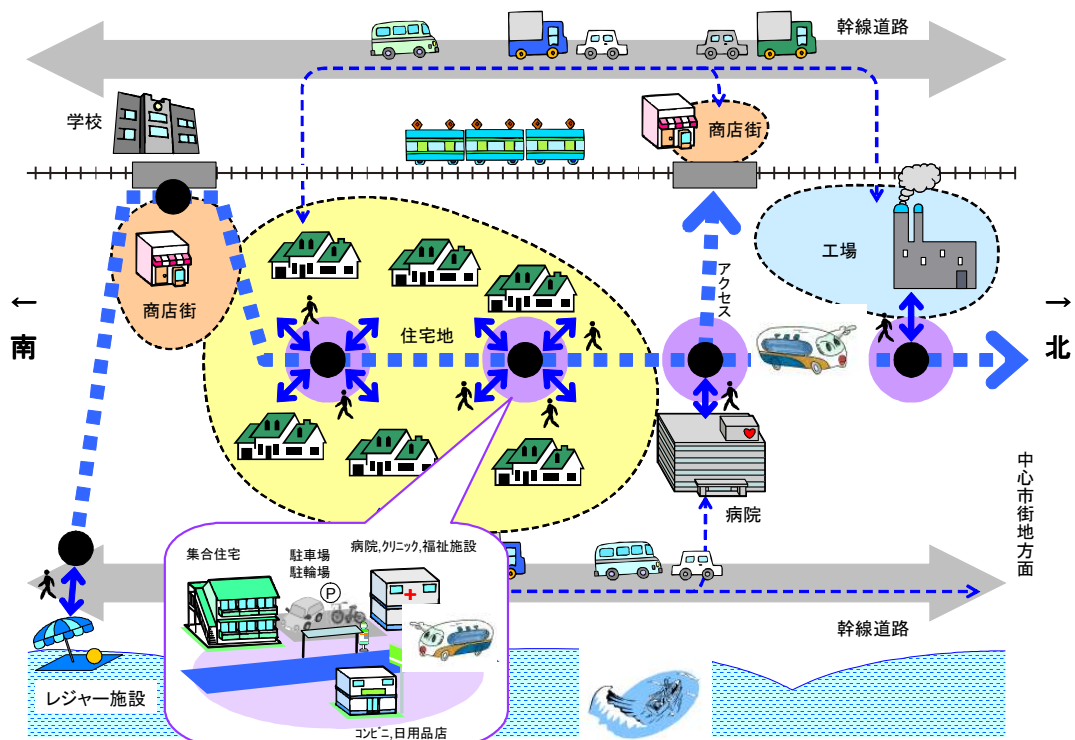


図 日立電鉄線跡地における新交通導入後のイメージ

1-4. 導入目標

○ 跡地に導入する公共交通施策については、「基本構想」で示された「自動車交通に過度に依存しない新たな交通手段の確立」を導入目標として、以下の機能を有する交通システムを目指す。

- ①交通渋滞問題の軽減のための南北の公共交通幹線軸を形成する交通システム
- ②市民の公共交通利用を促す交通システム
- ③誰でも安全で快適に移動できる交通システム
- ④超高齢化、環境社会に対応した新たなまちづくりをけん引する交通システム
- ⑤沿線の地域活性化が図れる交通システム

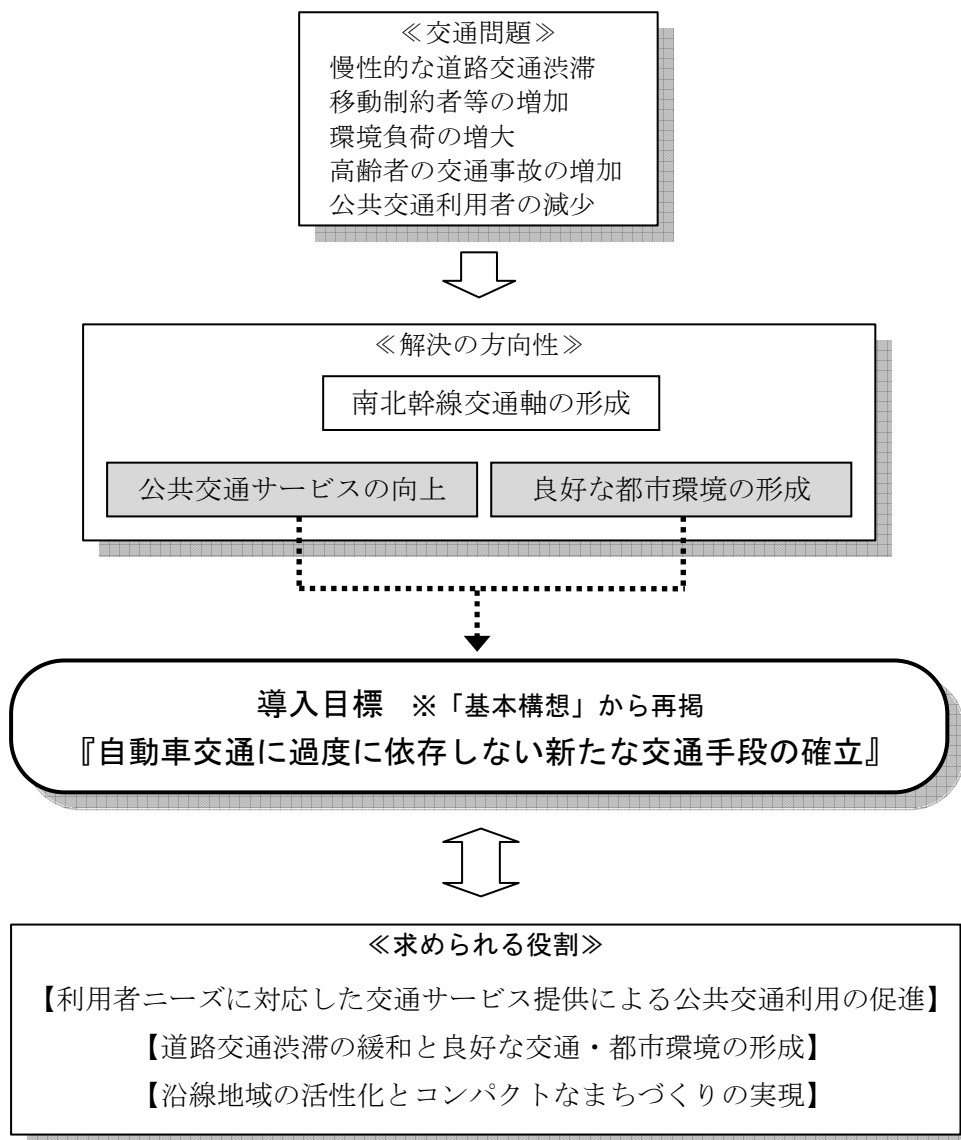


図 導入目標の設定までの流れ